

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	血友病患者の頭蓋内出血に関する観察研究
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 血液凝固科
研究期間：	西暦 2017 年 10 月 23 日～西暦 2021 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	荻窪病院血液凝固科ならびに東京医科大学臨床検査医学分野に通院中の血友病患者で発生した頭蓋内出血の症例を抽出し、その発生状況やリスクファクターを検討する。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん</p> <p>荻窪病院血液凝固科ならびに東京医科大学臨床検査医学分野に通院中の血友病 A ならびに B で頭蓋内出血を発症した患者さん</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>① 生年月</p> <p>② 既往歴</p> <p>③ 血友病に関する情報：血友病 A/B、重症度、治療方法（使用している血液製剤、定期補充療法/出血時治療）、インヒビターの有無</p> <p>④ 感染症に関する情報</p> <p>④-1 HIV 感染症（HIV-RNA 量、CD4 数、現在・過去の治療薬）</p> <p>④-2 B/C 型肝炎（現在の感染の有無、治療歴、肝臓癌、肝硬変）</p> <p>⑤ 血小板減少の有無</p> <p>⑥ 頭蓋内出血の発症年齢</p> <p>⑦ 合併症および基礎疾患（外傷、高血圧、高脂血症、糖尿病等）</p> <p>⑦ 頭蓋内出血の性状（出血部位、動脈性/静脈性等）</p> <p>⑧ 頭蓋内出血の治療内容、治療効果および転帰</p> <p>⑨ 頭蓋内出血後の後遺症の有無</p> <p>●研究方法</p> <p>臨床情報をカルテより取得する</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】</p> <p>医師名：鈴木 隆史 医療法人財団荻窪病院 血液凝固科 部長</p> <p>住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24</p> <p>電 話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（本研究に関する相談窓口）</p> <p>窓 口：鈴木 隆史（血液凝固科 部長）</p> <p>電 話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>受付時間：月～金 8：30～17：00（土・日・祝・祭日を除く）</p>